令和4年度 第1回

大分県交通渋滞対策協議会資料

目 次	
本日の報告事項・協議内容	1
1. これまでの検討経緯	2
2. 主要渋滞箇所のフォローアップ	6
3.TDM施策の実施状況と今年度の検討内容	1 8
4. 主要渋滞箇所の対策状況と今後の方針	2 2
5. 災害時交通マネジメントについて	23
6. 今後の進め方	2 4

令和4年8月8日(月)

本日の報告事項・協議内容

- 1. これまでの検討経緯
 - ・大分県内の主要渋滞箇所の状況
 - ・官民連携による渋滞対策
- 2. 主要渋滞箇所のフォローアップ
 - ・最新データを用いたフォローアップ結果
 - ・令和3年度対策実施箇所の紹介
- 3. TDM施策の実施状況と今年度の検討内容
 - ・令和3年度におけるTDM施策の実施概要
 - ・TDM施策の今年度の方針
- 4. 主要渋滞箇所の対策状況と今後の方針
 - ・大分県の主要渋滞箇所の対策状況
 - ・大分県における渋滞対策の進め方
- 5. 災害時交通マネジメントについて
- 6. 今後の進め方

本日の議事内容のポイント

ポイント1

主要渋滞箇所解除候補(2箇所※)の状況 報告

ポイント2

今年度のTDM施策検討方針

に渋滞候補箇所を抽出し、ア

ンケートによる道路利用者の

意見を踏まえ「地域の主要渋

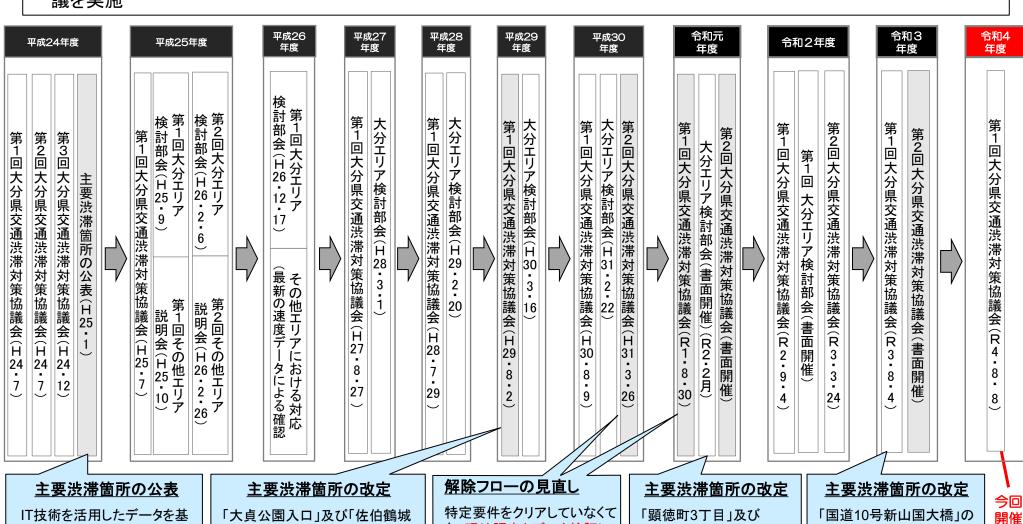
滞箇所」を選定

高校前」の2箇所について、渋滞

解消が確認されたため主要渋滞

箇所を解除

〇平成25年1月に主要渋滞箇所を公表し、それ以降、主要渋滞箇所への対応の基本方針や、今後の取り組みに対する協議を実施



も、現地調査とデータ検証に

より、「渋滞なし」を確認できれ

ば、主要渋滞箇所を解除でき

るように改定

「(仮)元町バス停北」の

2箇所について、渋滞解

渋滞箇所を解除

消が確認されたため主要

1箇所について、渋滞解消

が確認されたため主要渋

滞箇所を解除

(1)大分県内の主要渋滞箇所の状況

- 〇大分県内の主要渋滞箇所は平成25年1月に147箇所を選定・公表し、バイパス整備及び交差点改良等の対策等を実施 してきた結果、これまでに5箇所を解除。
- 〇依然として、大分市内・別府市内を中心に142箇所の主要渋滞箇所が残存。

●主要渋滞箇所の状況

解除済み筒所



現在の大分県内主要渋滞箇所(一般道)

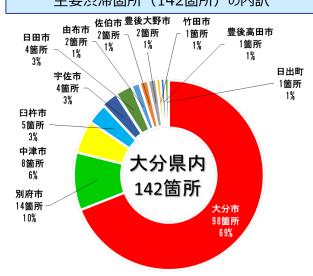
時期	主要渋滞	内訳			
时刑	箇所	集約区間数	箇所数		
選定時 (H25.1)	147箇所	29区間 (82箇所)	65箇所		
H29年渋滞協後 (H29.8)	145箇所	29区間 (82箇所)	63箇所		
R1年渋滞協後 (R2.3)	143箇所	29区間 (80箇所)	63箇所		
R3年渋滞協後 (R3.8)	142箇所	29区間 (80箇所)	62箇所		
解除済み箇所	5箇所	5籄	所		

箇所:単独で主要渋滞箇所を形成

区間:交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、

複数の主要渋滞箇所を含む区間

主要渋滞筒所(142筒所)の内訳



(2)官民連携による渋滞対策

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で 対策箇所を特定したうえで、即効性のある渋滞対策を実施。

渋滞対策協議会における議論 ・最新交通データによる渋滞状況検証 ・交通状況に対する専門的見地からの検証 モニタリング等による検証 地域の主要渋滞箇所の 利用者団体と連携 特定・見直し (トラックやバスタクシー・ハイヤー等)

ソフト・ハードを含めた対策の検討・実施

地域の課題を共有することで道路管理者と

道路利用者間での議論を促進

円滑な渋滞対策の立案・実施を実現



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

(3)トラックやバス、タクシー・ハイヤー等の事業者からみた渋滞箇所一覧

トラック事業者	国道10号 大分大学入口交差点付近 国道10号(~県道38号)中村交差点 県道22号 中島十条交差点付近 国道197号·県道614号 鶴崎橋東交差点付近 国道10号 金池~県道21号 加納西 国道10号 大分市高江付近 国道10号 東別府付近 国道10号 宮崎交差点付近 国道10号 鶴崎方面	国道210号 椎迫入口付近 国道210号 挾間三差路 国道210号 挾間町郵便局先 県道22号 新川交差点 県道21号・県道208号 金の手交差点付近 県道614号 川添橋東交差点付近 国道197号・県道685号 乗越交差点 国道10号 西生石交差点付近
バス事業者	国道10号 流川通り交差点付近 R4年度実施予定 国道10号 かんたん交差点付近	国道10号 大分駅前交差点付近 国道10号 西生石交差点付近
ハイヤー・ タクシー 事業者	国道10号 大分駅前交差点 国道10号 錦町2丁目交差点~元町方面 国道10号 府内大橋上下線 国道210号 羽屋交差点 国道210号 椎迫入口交差点	国道210号 下桑本交差点 国道197号 鶴崎駅前交差点 県道21号 加納交差点 県道22号 中島十条交差点

:対策実施済箇所

: 今年度(R4年度)対策実施予定箇所

(1)主要渋滞箇所の対策実施後のフォローアップの流れについて

〇対策を実施した次年度に「最新の交通データを用いた渋滞状況のモニタリング」を実施し、その翌年以降に「主要渋滞箇所の 解除の検討」を実施。

【主要渋滞箇所の対策実施後の流れ】

1年目

対策(ハード対策・ソフト対策)の実施

2年目

最新の交通データ(ETC2.0)を用いた渋滞状況のモニタリング

3年目 以降 主要渋滞箇所の解除を検討 (ETC2.0データを活用したフォローアップ、現地調査)

主要渋滞箇所の特定解除

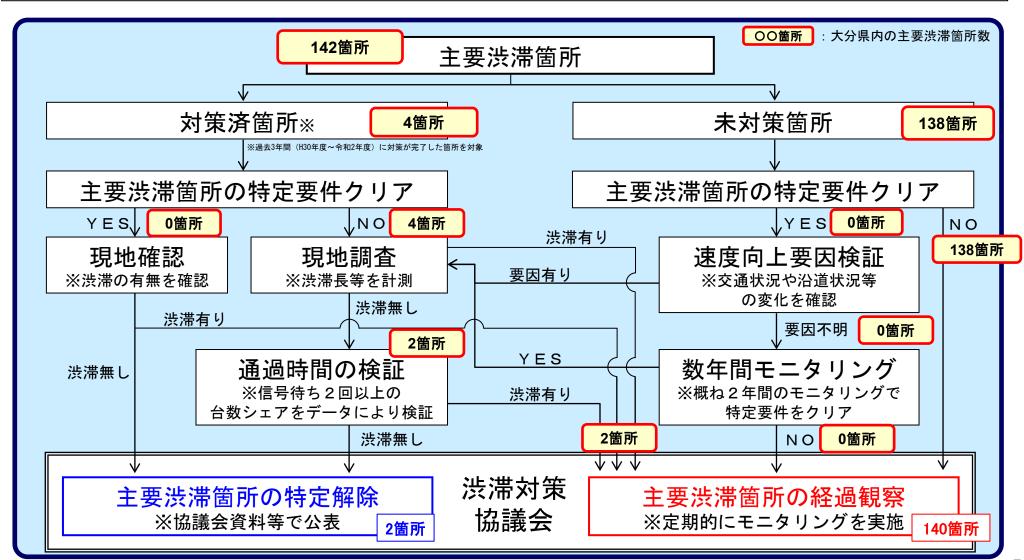
※協議会資料等で公表

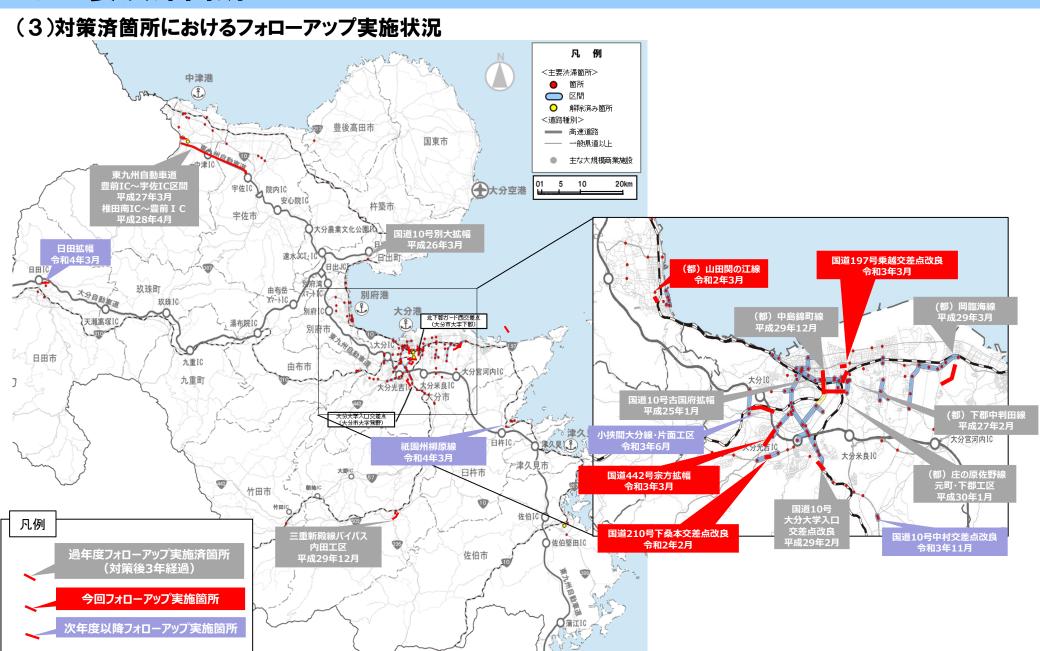
主要渋滞箇所の経過観察

※定期的にモニタリングを実施

(2)最新データを用いたフォローアップ結果

- ○最新の交通データを用いて主要渋滞箇所のモニタリングを実施し、解除フローに基づき解除候補箇所を抽出。
- 〇抽出の結果、今回の解除候補箇所は2箇所。





٤

(4)対策箇所のフォローアップ結果(過去3年(平成30年度~令和2年度)実施箇所:4箇所)

- 〇過去3年間に対策が完了した道路事業4箇所のうち、<u>富士見通り7丁目交差点、上宗方交差点</u>については、特定要件をクリアしていないものの、現地で渋滞解消を確認した為、解除候補とする。
- ○<u>下桑本交差点、乗越交差点については</u>、速度向上が確認されたものの、特定要件をクリアしておらず、現地で渋滞 の残存を確認した為、<u>経過観察</u>とする。

凡例 **20km/h未満** 【主要渋滞箇所の特定要件】

平日朝 (7時~9時) または平日夕 (17~19時) または休日昼 (7時~19時) の<u>平均速度が</u> 一方向でも 20km/h未満 になる箇所

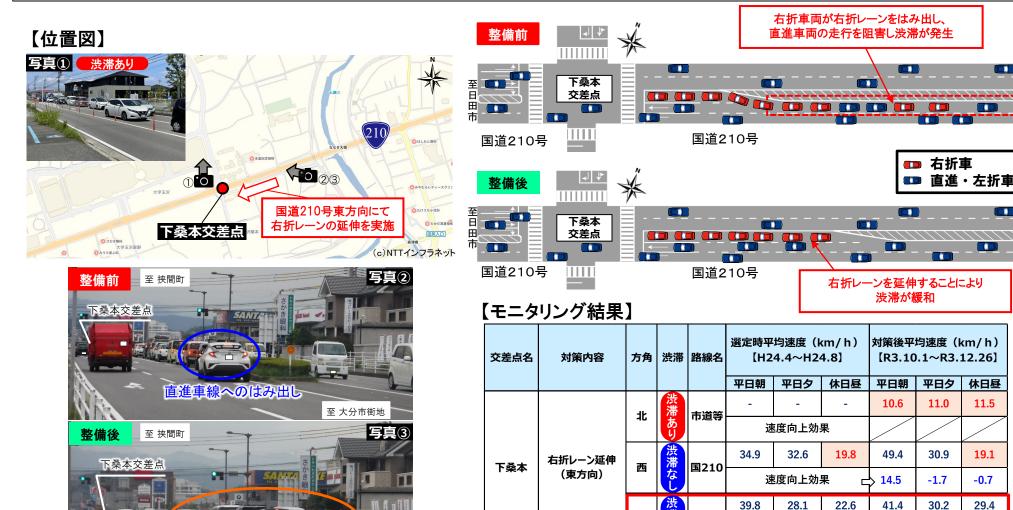
●過去3ヵ年において対策が完了した主要渋滞箇所の点検結果

交差点名	対策事業名	対策内容	完了 年次	今後の対策	今後の対策 (事業中) 方角 [平均速度(k 24.4~H24			平均速度(k l0.1~R3.1		特定要件	現地状況	位置づけ											
			+//	(尹未下)			平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼														
					北	市道等	-	-	-	10.6	11.0	11.5														
下桑本	交差点改良	右折レーン延伸	R2.2	なし	西	国210	34.9	32.6	19.8	49.4	30.9	19.1	該当	渋滞有り	経過観察											
					東	国210	39.8	28.1	22.6	41.4	30.2	29.4	N∃													
			R2.3	R2.3	R2.3	R2.3		南	市道等	13.7	9.6	13.6	16.8	16.3	17.2											
富士見通り7丁目	(都)山田関の江線	4 声炉ル					R2.3	R2.3	R2.3	R2.3	なし	西	市道等	16.6	20.4	17.3	21.9	19.0	20.2	0	渋滞無し	特定解除				
畠工兄週リ/ 1日	西野口町工区	4 車線化									K2.3	R2.3	R2.3	K2.3	R2.3	K2.3	K2.3	K2.3	R2.3	K2.3	R2.3	K2.3	なし	東	市道等	26.9
																	北	市道等	5.6	6.0	6.2	8.1	7.6	9.5		
					東	国197	9.6	11.5	17.1	11.1	10.5	16.8														
│ │乗越	 交差点改良	 右折レーン延伸	R3.3	なし	北	県685	4.5	4.6	7.0	10.2	6.3	9.8	0	渋滞有り	経過観察											
米 爅	文左無战区		K3.3	74.0	西	国197	8.1	4.6	8.0	13.1	9.7	14.4	該当	次/面/日ウ	非型既示											
					南	県685	13.9	18.7	17.2	7.4	7.9	6.8														
					南西	国442	19.6	18.5	18.1	26.2	29.1	29.2	0													
上宗方	国道442号宗方拡幅	現道拡幅	R3.3	なし	北東	国442	26.6	27.5	22.5	24.1	20.1	20.9	該当	渋滞無し	特定解除											
					南東	市道等	11.0	5.0	4.6	11.8	6.5	8.5	N =													

- : データなし データ: プローブデータおよびETC2.0プローブ情報

(4)対策済箇所のフォローアップ結果【下桑本交差点(国道210号右折レーン延伸)】

- 〇令和2年2月に下桑本交差点改良(国道210号右折レーン延伸)の事業が完了。
- ○当該工区の事業完了により東側の速度向上が見られるものの、現地調査にて渋滞の残存が確認されたため経過観察とする。



朝(7~8時台) 夕(17時~18時台) 上段:平均速度(km/h)/下段:選定時からの変化(km/h)

国210

速度向上効果

データ:プローブデータおよびETC2.0プローブ情報

1.6

2.1

休日昼

11.5

19.1

-0.7

29.4

6.8

(4)対策済箇所のフォローアップ結果【富士見通り7丁目交差点(現道拡幅)】(1/2)

○今和2年3月に県道645号((都)山田関の江線)の現道拡幅が完了。その後、令和3年度に信号現示を調整。

【位置図】



(c)NTTインフラネット

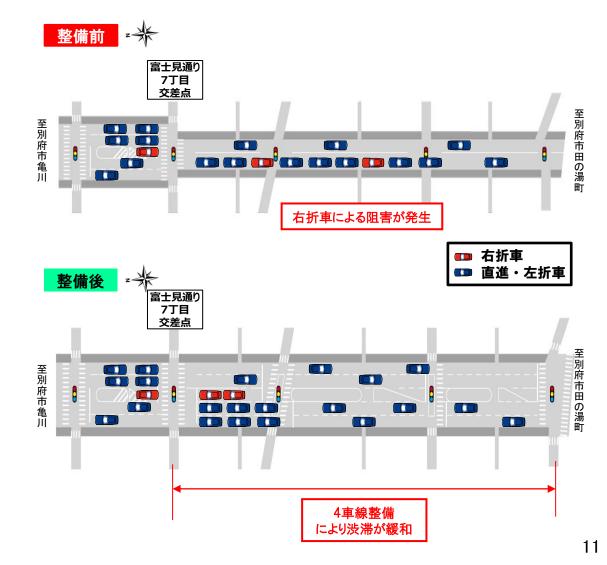




【参考】信号現示

	R2 ⁴	丰度	R3年度		
	方向①②	方向34	方向①②	方向34	
青時間	34秒	65秒	44秒	55秒	
青時間比	26%	50%	34%	42%	
サイクル長	130	 D秒	130)秒	

【整備内容】



(4)対策済箇所のフォローアップ結果[富士見通り7丁目交差点(現道拡幅)](2/2)

- ○現地調査の結果、渋滞解消を確認。通過時間を検証した結果、信号待ち2回以上の割合が少ない状況を確認。
- 〇特定要件をクリアしていないが現地調査及び通過時間の検証結果により、渋滞解消を確認した為、解除候補とする。



(c)NTTインフラネット

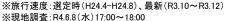


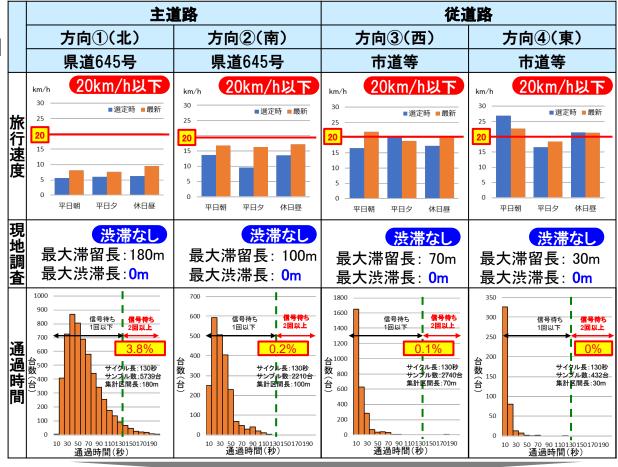






【フォローアップ結果】





主要渋滞箇所の解除

(4)対策済箇所のフォローアップ結果【上宗方交差点(現道拡幅)】(1/2)

〇令和3年3月に国道442号宗方拡幅事業のうち4車線整備区間が完了。





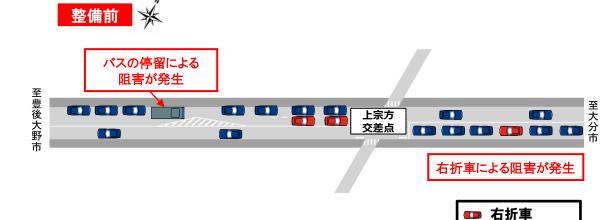




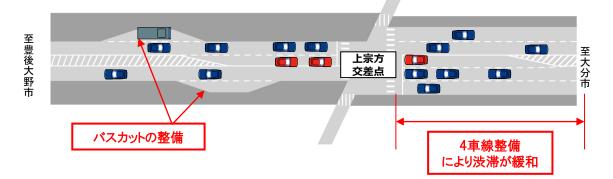
【参考】信号現示

	方向①②	方向③		
青時間	105秒	33秒		
青時間比	70%	22%		
サイクル長	150秒			

【整備内容】







□ 直進・左折車

ニバス

(4)対策済箇所のフォローアップ結果【上宗方交差点(現道拡幅)】(2/2)

- 〇現地調査の結果、渋滞解消を確認。通過時間を検証した結果、信号待ち2回以上の割合が少ない状況を確認。
- 〇特定要件をクリアしていないが<u>現地調査及び通過時間の検証結果により、渋滞解消を確認した為、解除候補</u>とする。









【フォローアップ結果】

※旅行速度:選定時(H24.4-H24.8)、最新(R3.10~R3.12) ※現地調査:R4.7.12(火)17:00~18:00

_		TO THE ITE	※ 規地語	调査: R4.7.12(火)17:00~18:00
		主道	直路	従道路
		方向①(北東)	方向②(南西)	方向③(南東)
		国道442 号	国道442 号	市道等
1		km/h 20km/h以上	km/h 20km/h以上	km/h 20km/h以下
L	_	40 ■選定時 ■最新	40 ■選定時 ■最新	40 ■選定時 ■最新
月	旅亍恵	30	30	30
į	東	20	20	20
Æ	艺	10	10	10
4		0 平日朝 平日夕 休日昼	0 中日朝 中日夕 休日昼	平日朝 平日夕 休日昼
Ŧ	見	a上:世+51	(正)世子(SIL SHE ALL
į	也	<mark>渋滞なし</mark> 最大滞留長:80m	<u>渋滞なし</u> 最大滞留長: 100m	渋滞なし 思力 滞 切 目 20
1	見也周を	最大渋滞長:0m	最大洗滞長: 0 m	最大滞留長: 70m 最大渋滞長: 0m
ľ	-	3500	3500	項文 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
		3000 信号待ち 信号待 ち	3000 信号待ち 信号待ち 1回以上	信号待ち 信号待ち
١,	.	2500 2500	2500	10以下
֓֞֜֞֜֜֜֜֜֞֜֜֜֜֜֜֜֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֡֓֜֜֜֜֓֓֓֡֓֜֜֡֡֓֜֜֜֡֡֓֡֓֡֡֓֡	通過寺間	台数 2000 台 サイクル長: 150秒 サンブル数: 4349台	台 2000 数 サイクル長:150秒 サイブル数:7483台 集計区間長:100m	400 数 300 サイクル長:150秒 サンブル数:1971台 業計区間長:70m
Ê	- 寺	集計区間長:80m	313.1.	台 サンプル数: 1971台 集計区間長: 70m
ſ	间	500	1000	100
			500	
		10 30 50 70 90 110 130 150 170 190 通過時間(秒)	10 30 50 70 90 110 130 150 170 190 通過時間(秒)	10 30 50 70 90 110 130 150 170 190 通過時間(秒)

(4)対策済箇所のフォローアップ結果【乗越交差点改良(国道197号右折レーン延伸)】

■ 左折車

- 〇令和3年3月に乗越交差点改良事業が完了。
- 〇当該工区の事業完了により西側の<u>速度向上が見られるものの、現地調査にて渋滞の残存が確認されたため経過観察</u>とする。



(約70m)





【モニタリング結果】

交差点名	対策内容	方角	渋滞			•			対策後平均速度(km/h) 【R3.10.1~R3.12.26】		
					平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
		東	渋滞	渋滞なし 国197 -	9.6	11.5	17.1	11.1	10.5	16.8	
		_			速	度向上効:	果	1.5	-1.0	-0.3	
		北	渋滞あ	県685	4.5	4.6	7.0	10.2	6.3	9.8	
乗越	右折レーン延	46	あり		速	度向上効:	果	5.7	1.8	2.8	
米陸	伸(西方向)	西	渋滞	渋滞なし	8.1	4.6	8.0	13.1	9.7	14.4	
		Ed.	なし		速	度向上効	果	5.0	5.1	6.4	
		南	渋滞あり	県685	13.9	18.7	17.2	11.9	19.3	16.3	
		143	あり	жооэ	速	度向上効:	果	> -2.0	0.6	-0.9	

朝(7~8時台) 夕(17時~18時台) 上段:平均速度(km/h)/下段:選定時からの変化(km/h) データ: プローブデータおよびETC2.0プローブ情報 15

(5)令和3年度対策実施箇所の紹介

- 〇令和3年度に「国道212号日田拡幅」「小挾間大分線・片面工区」「祇園州柳原線」の事業が完了。
- 〇当該事業により交通状況に影響がある主要渋滞箇所について、次年度以降、効果検証を実施する。

【国道212号日田拡幅】

整備内容	現道拡幅
期待される効果	4車線化により、交通渋滞解消

【小挾間大分線・片面工区】

金川内台	况但加 悃
期待される効果	幅員狭小、見通不良区間の解消 により利便性・安全性の向上

【祇園州柳原線】

整備内容	現道拡幅
期待される効果	都市内交通の円滑化

≪位置図≫







≪位置図≫



整備前



整備後



整備前



整備後



整備前



整備後



(6)令和4年度の官民連携による渋滞対策実施箇所 <国道10号 流川通り交差点>

バス事業者

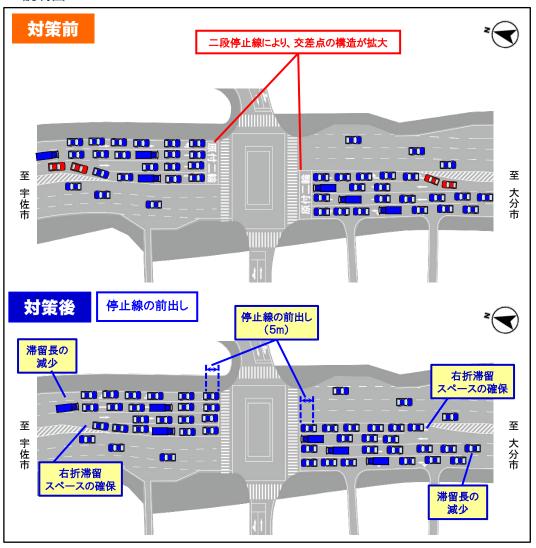
- ○二段停止線により、交差点の構造が拡大していることで平日・休日ともに渋滞が発生。
- ○国道10号の停止線を前出しし交差点をコンパクト化することで渋滞緩和を図る(令和4年度実施予定)。



≪広域図≫



≪説明図≫



(1)令和3年度におけるTDM施策の実施概要

〇令和3年度は、大分市内において、「経路変更」「公共交通・自転車利用促進」「時差出勤奨励」「テレワーク奨励」などのTDM 施策を試行的に実施。

毎日の"自動車通勤"による 渋滞のイライラ解消しませんか?

大分県渋滞対策協議会では、大分市中心部における通勤時間帯の渋滞緩和を目的として、 大分市中心部へお勤めの皆様に自動車通勤の手段変更等をお勧めしています。

試行期間:令和3年12月6日(月)~12月17日(金)

上記期間を「試行期間」とし、通勤に重点をおいて自転 ◆ 参加頂ける場合は下記URLまたは右記 車通勤経路の変更、自転車や公共交通への転換及び、 時差出勤・テレワーク等により渋滞の緩和を図ります。

積極的な参加をお願い致します!

これを機に、是非通勤方法を見直してみませんか?

QRコードからお申込みください!

◆ 既に同様の取組みを実施している場合 も、ご賛同頂く形でお申し込みください

https://questant.jp/q/I340E430





参加のメリット

参加企業はこんなメリットがあります

↑ 企業のイメージアップが期待できます

通勤時の渋滞対策やCO2排 出削減などの地球温暖化の防 止に積極的に努める企業とし て公表予定であり、企業の宣 伝やイメージアップを図るこ とができます。



❷ 企業のCO2排出削減が見込まれます 社員の自動車通勤による CO2排出削減に貢献します。

ゼロに向けて、政府により 「カーボンプライシング ※」が本格導入に向けて検 討が進められています。



利用者はこんなメリットがあります

🕙 通勤ストレスの改善や健康増進が図られます 🛂 ガソリン代を節約し家計を支援します

通勤にかかる時間が短縮する のでストレスもなくなります。 また、徒歩や自転車通勤によ り運動量が増えるため、健康増 進が期待できます。



スイスイ走ることによ り、燃費もよくなり、ガ ソリン代をお得に!ムダ な支出がなくなり、家計 も大助かりです。



今回の取り組み内容について

別添2

渋滞緩和に向けた取り組みを実施します

試行期間:令和3年12月6日(月)~12月17日(金)

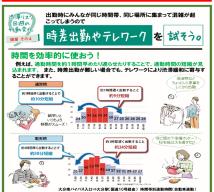
上記期間を「試行期間」とし、ご賛同して下さった企業・団体の皆様とともに、自動車通勤 経路の変更、自転車や公共交通への転換及び、時差出勤・テレワーク等により渋滞の緩和 を図ります。

これを機に、皆様も普段の通勤手段を見直してみませんか?

工夫して渋滞リスクを回避し、環境にも優しい大分をつくろう。



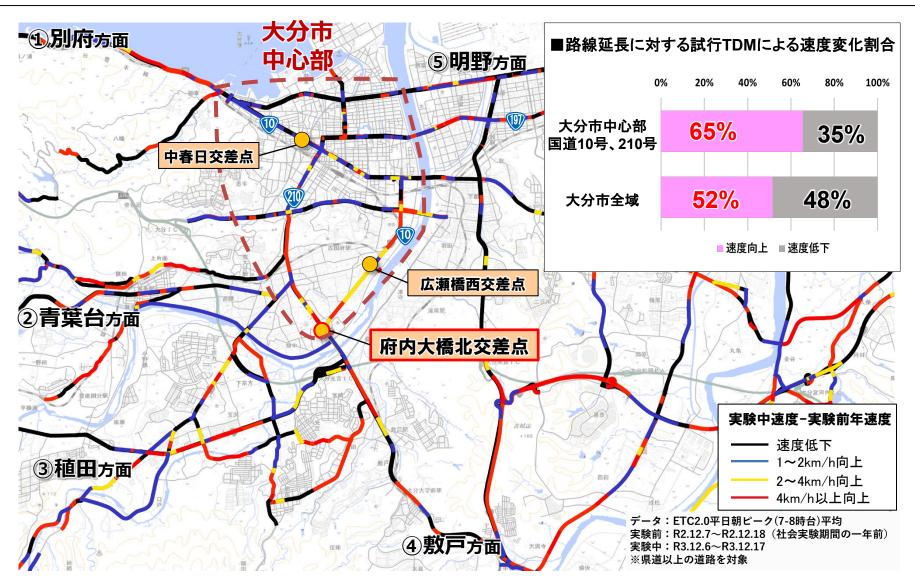




3. TDM施策の実施状況と今年度の方針

(2)令和3年度におけるTDM施策の検証結果

- 〇社会実験期間中の朝ピークの路線速度は前年と比較して、大分市中心部(国道10号、210号)で総延長の65%が速度向上。
- ○また、大分市全域における路線速度についても半数以上の道路で速度向上を確認。

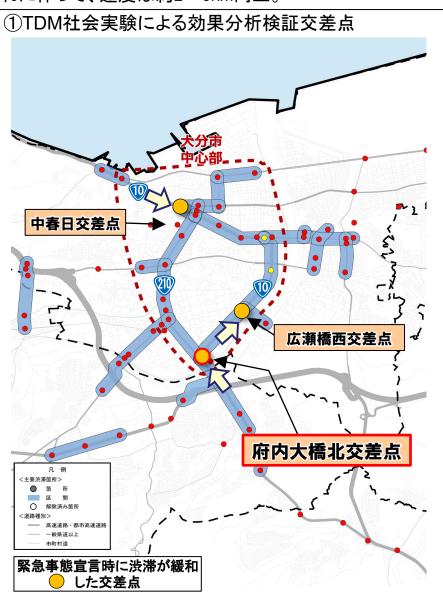


3. TDM施策の実施状況と今年度の方針

(2)令和3年度におけるTDM施策の検証結果

〇「府内大橋北交差点」「広瀬橋西交差点」「中春日交差点」では、社会実験の前年と比較して交通量が20~50台/時減少。

〇それに伴って、速度は約2~3km向上。





3. TDM施策の実施状況と今年度の方針

(3)TDM施策の今後の方針

〇今年度は、<u>昨年度試行的に実施したTDMの結果を踏まえ、今後の継続的なTDM施策の立案を行う</u>。

〇今年度の方針

今後の推進施策	今年度の検討内容
・TDM施策の継続的な呼びかけ	・昨年度参加協力を頂いた企業・事業者等に対して追跡アンケートを実施するなど、効果的な広報の方法を検討
・通勤経路の変更に関する検討	・最短経路のリアルタイムでの情報提供手法の事例を収集し、大分市内で実施する場合の課題等を検討

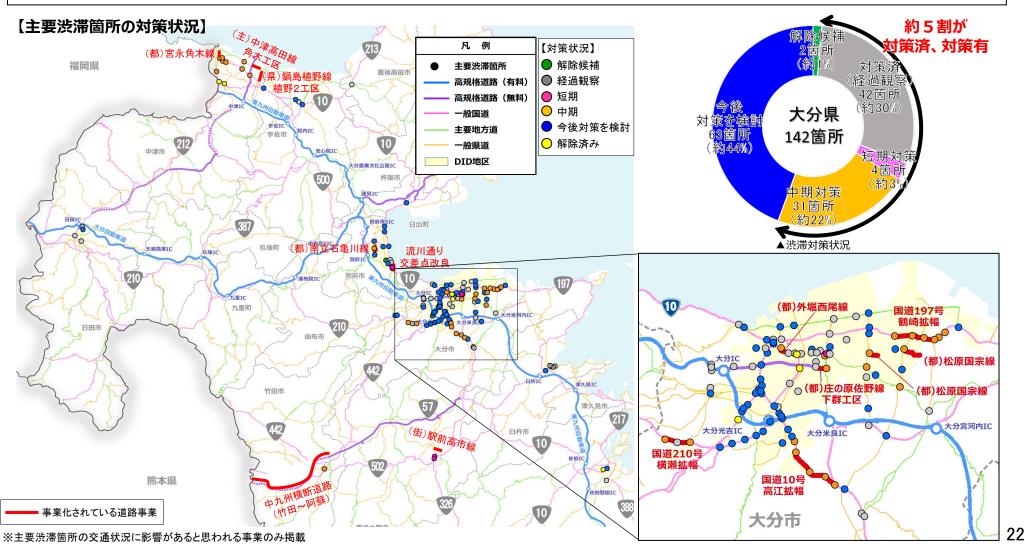
〇スケジュール(案)

実施項目	R3年度		R4年度				R5年以降
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	八分十八四
協議会・WG等		•					
検討・調整							
施策の試行							
効果検証							
改善案の検討							
継続実施							

4. 主要渋滞箇所の対策状況と今後の方針

(1)大分県における事業中の道路整備と主要渋滞箇所の対策状況

- 〇大分県では、現在、国道10号高江拡幅や(都)庄の原佐野線、中九州横断道路(竹田~阿蘇)等の道路事業を推進中。
- 〇上記のような大規模道路事業の他にも交差点改良等の事業が進められており、残存する主要渋滞箇所の内、約5割は対策 済(経過観察)、または対策有となっている。
- 〇一方で、残りの5割の箇所については今後もハード・ソフトの両面から対策の検討が必要である。



5. 災害時交通マネジメントについて

- ○発災時は復旧活動等を支えるため、限られたネットワーク等を活用して、交通処理能力の最大化が必要
- 西日本豪雨災害の際に体制構築に時間を要した反省を踏まえ、統括的交通マネジメントに係る組織を 構築し、災害発生時に速やかに実施体制に移行する環境を整備

災害対応における課題

・限られた交通処理能力の最大化

具体的な施策

・統括的交通マネジメント

【具体的な施策】

■統括的交通マネジメントの導入例(広島呉道路)

JR呉線と広島呉道路の被災などによる広島~呉間の道路交通渋滞緩和のため、交通マネジメントを実施

○常時の交通マネジメントのルールにとらわれない施策の例





○高速道路料金調整による 広域迂回誘導の実施

(山陽道などを経由した広域迂回)



〇災害時BRTの運用 【通常運用時】

広島方面 天応西 部分開通 出来ない 天応東 <u>呉IC~天応東ICは</u> 通行不可

【今回の運用】

 〇広島・呉・東広島都市圏 災害時交通マネジメント検討会の設置

[目的] ■広島・呉・東広島都市圏域を結ぶ幹線道路の渋滞緩和を図るため 交通マネジメント施策の包括的な検討・調整等を行うことを目的

[メンバー体制] 藤原章正委員長(広島大学)

<u>地元の</u> 学識経験者

行政 ・地方整備局 ・経済局局 ・経済局員警 ・教育員

・旅客船協会 ・バス協会 ・JR西日本 ・広島電鉄 ・NEXCO西日本 ・広島県道路公社 ・広島高速公社

交通事業者

経済団体

・中国経済連合会 ・広島商工会議所 ・呉商工会議所

- ※災害時BRTは京阪神等から広域支援
- ※運行情報取得のため、予めGPSの搭載が必要

資料:道路の防災・減災について(国土交通省)

6. 今後の進め方

- ○最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞筒所の交通状況のモニタリングを継続的に実施。
- ○構築した検討体制により、モニタリング結果等を有効に活用し地域毎の渋滞対策の検討を推進。

"交通渋滞対策協議会"による議論

- ■最新の交通データによる渋滞状況の検証
- ■地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証 等
- ■主要渋滞箇所の指定及び解除の協議・判断



"検討部会(大分エリア)および 各道路管理者等 (その他エリア)"による議論

- ■交通状況のモニタリング(主要渋滞箇所のフォローアップ)
- ■地域の交通課題の共有
- ■ソフト・ハードを含めた対策の検討・調整等

